

# 世界の潮流から読み解く 関西半導体素材産業の未来展望

～台湾TSMCの最新動向／半導体産業の投資視点～

2026

2.12 木  
14:00 - 17:00

会場開催  
のみ

先着  
100名

いま、世界中で戦略物資として注目される半導体。

その供給を陰で支える素材産業において、関西は過去からの蓄積を生かした重要な役割を担っています。本講演では、台湾TSMCの最新動向と国内半導体分野への投資視点から関西半導体素材産業の可能性を探ります。

## 次第

### ■ 基調講演

講演1 「台湾から見た半導体産業事情」  
渡辺 浩志 氏

講演2 「国内半導体産業への投資」  
河野 真一 氏

### ■ パネルディスカッション

金子 健太郎 氏 (モデレーター)

渡辺 浩志 氏 (再掲)

河野 真一 氏 (再掲)

佐々木 智一氏

一般社団法人京都試作ネット 代表理事

佐々木化学薬品株式会社 代表取締役

松林 洋一氏

一般財団法人アジア太平洋研究所 上席研究員

神戸大学大学院 経済学研究科 教授



(台湾) 国立陽明交通大学 教授

渡辺 浩志 氏

2010年に東芝を退職し、同年より現職。

東芝時代は、ロジックおよびメモリ製品に関する先端デバイスマデリングや信頼性解析に従事。

大学では量子力学や統計力学の講義にも力を注ぎ、卒業生の多くがTSMCなどの台湾半導体企業に就職。台湾の半導体最新動向の知見を有する。



株式会社エリュー 代表取締役CEO

元 ブラックロック・ジャパン CIO

河野 真一 氏

イギリスの大学で数学や計量経済学を学び、第一證券に入社。2000年にメリルリンチ・インベストメント・マネジャーズへ入社。2006年にブラックロック・ジャパンに移籍後、最高投資責任者(CIO)に就任。2016年4月に株式会社エリューを設立し、様々な地域や企業の革新をサポートしている。



立命館大学 半導体応用研究センター長、教授

金子 健太郎 氏

京都大学工学研究科 電子工学専攻 博士(工学)

研究者として、水素生成、光の透過反射を操る

メタマテリアルなどの新材料開拓について多くの企業と共同研究を行っている。滋賀県や京都府、大阪府泉佐野市、熊本県菊陽町等の行政機関に半導体政策の助言等も行っている。半導体出荷額20年連続日本一である三重県の半導体振興方針策定に係る有識者会議のメンバーでもある。

## 会場



グランフロント大阪北館タワーC 8階  
ナレッジキャピタル カンファレンスルーム  
タワーC Room C03+04

お申し込みはこちら

お申込みの受付は2月9日(月) 17:00 まで  
となっております

